シャチ　北西太平洋

Killer Whale, *Orcinus orca*

管理・関係機関

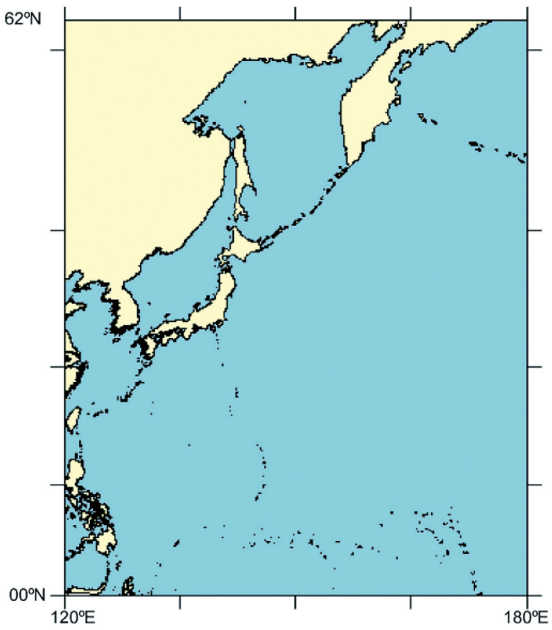
農林水産省

最近一年間の動き

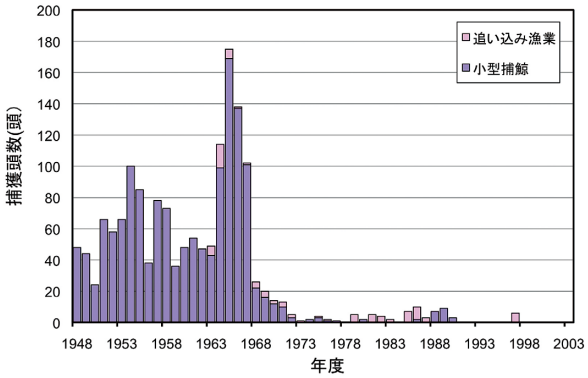
本種をめぐる大きな動きはないが、引き続き目視調査等から発見、個体識別データの収集を行っている。

生物学的特性

■寿　命：雄 50 ～ 60 歳、雌 80 ～ 90 歳
■成熟開始年齢：雌 14.9 歳、雄 15.0 歳
■産卵期・産卵場：10 ～ 3 月・不明
■食　性:イカ類、硬骨魚類、軟骨魚類、海亀類、海鳥類、アザラシ類、アシカ類、鯨類
■捕食者：サメ（幼獣）



北西太平洋のシャチの分布域（青）、本海域に広く分布する。



我が国のシャチ捕獲数の推移

利用・用途

水族館展示、刺身、鯨油など

漁業の特徴

本種の捕獲は、小型捕鯨業及びイルカ追い込み漁業で行なわれてきた。小型捕鯨業による捕獲は、主に房総～三陸沖（47.6%）と北海道周辺（36.9%）であった。小型捕鯨業による捕獲は、春から初夏にかけて北海道オホーツク海沿岸と道東、夏から初冬にかけて道東と三陸沖に推移していた。イルカ追い込み漁業による捕獲は、和歌山県太地で行われてきて、捕獲は 2 ～ 5 月に集中していた。

漁業資源の動向

小型捕鯨業による捕獲は、戦後 1960 年代半ばまでは年間数十頭で推移してきたが、1966 年から 3 年間で年間 100 頭以上を捕獲して以降、急激に少なくなり、1972 年以降は年間多くても数頭程度で推移してきた。1991 年からは小型捕鯨業に対する本種の捕獲枠は与えられておらず、事実上捕獲が禁止されている。イルカ漁業による捕獲は、1963 年以降合計 87 頭である。イルカ漁業による捕獲には水族館用の生け捕りも含まれる。現在は、学術調査用の特別捕獲のみ認められており、1997 年にこれにより 5 頭が捕獲されている。

Copyright (C) 2013 水産庁・水産総合研究センター All Rights Reserved

資源状態

西部北太平洋（北緯 20 度以北、東経 130 度～ 170 度の太平洋とオホーツク海）における本種の生息頭数は、1992 ～ 1996 年、8 ～ 9 月の目視調査の解析から、北緯 40 度以北で 7,512 頭（CV=0.29）、北緯 20 ～ 40 度で 745 頭（CV=0.44）と推定された。
北西太平洋における本種系統群の情報は全くないが、米国側の情報から類推すると複数の系統群があることは十分予想される。今後系群構造を明らかにして、系群単位の生息頭数とその動向を検討する必要がある。

管理方策

現在、学術目的以外での捕獲は禁止されている。

資源評価まとめ

個体識別による生物学的パラメータ推定と個体数推定。
目視調査による資源量推定。

資源管理方策まとめ

学術目的以外の捕獲は禁止。

シャチ（北西太平洋）の資源の現況（要約表）

資源水準	調査中
資源動向	増　加
世界の捕獲量（最近５年間）	不明（ロシアが水族館用に数頭捕獲したとの情報がある）
我が国の捕獲量（最近５年間）	０頭

Copyright (C) 2013 水産庁・水産総合研究センター All Rights Reserved